

(公表用)

一般競争入札 質問・回答書

工事名 国補ストックヤード建設・旧清掃センター焼却施設解体工事

	質問内容	回答
1	<p>●発注仕様書について</p> <p>①*発注仕様書 (P-5) (8)公害対策 オ) 水質・土壌汚染対策</p> <ul style="list-style-type: none">当該事項「本施設内に残る塵芥類、滞留水、廃、汚泥、薬品、油類等については産業廃棄物として適正に処理する」と記述がありますが、受注後、弊社において考えている想定外での当該残留物等が発生した場合には、協議、変更と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。	<p>特定JVが持ち得る解体施工実績や、提供した既設図面、また現地確認により積算願います。</p> <p>なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>
2	<p>②*発注仕様書 (P-6) (11)瑕疵担保</p> <ul style="list-style-type: none">当該事項「本工事起因の地盤沈下、撤去未済物、汚染等により、不都合が生じた場合には全て受注者の責任にて、これを改善しなければならない」との記述がありますが、不足の事態及び想定外の事象が生じた場合は、協議、変更可能と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。	<p>地盤沈下について、本工事で実施する埋戻し範囲については、工事の責任において沈下することのないよう施工してください。</p> <p>撤去未済物について、発注仕様書 P21 7(1)に示すとおりで残らないよう施工してください。</p> <p>汚染等について、本工事でダイオキシン類などの汚染物やアスベストなどが周辺環境へ拡散することのないよう確実に施工してください。</p> <p>なおその上で、不測の事態及び想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>
3	<p>③*発注仕様書 (P-15) (3)解体作業管理区域</p> <ul style="list-style-type: none">カ) 当該事項「洗浄廃水が管理区域から流出しないよう、必要に応じて床面の目地、亀裂、及び排水溝を補修すること」との記述がありますが、現時点において管理区域内（施設）での当該事項の現状が把握しかねます。受注後、調査を実施し、協議、変更と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。	<p>特定JVが持ち得る解体施工実績や、提供した既設図面、また現地確認により積算願います。</p> <p>なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>

4	<p>④*発注仕様書 (P-15) (3)解体作業管理区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キ) 当該事項「地下水が高く、地下灰コンベア室等の外壁面から地下水が流入している。管理区域内に入った水はそのまま放流できないため、管理区域設置前に止水工事を行う」という記述がありますが、上記事項同様に、現状の把握ができません。受注後、調査を実施し、協議、変更と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。 	<p>特定JVが持ち得る解体施工実績や、提供した既設図面、また現地確認により積算願います。 なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>
5	<p>⑤*発注仕様書 (P-17) (8)洗浄排水処理設備の設置 カ) 本施設内の滞留水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事項「焼却施設の各水槽に汚水などの滞留水が溜まっていることから、産業廃棄物として適正に場外処分すること」との記述がありますが、現状では滞水量及び水質分析等の把握ができません。受注後に、滞水量の調査及び水質検査を実施し、処分としますが、滞水量（水替工）及び処分費について、変更は可能でしょうか？ご教示ください。 	<p>既設図面の確認および現地確認により、現状を把握して積算してください。 本施設に残る付着物堆積物は3000pg-TEQ/gを超える高濃度のダイオキシン類濃度の汚染を確認しています。プラント排水処理系統等に残る滞留水、堆積物についても高濃度のダイオキシン類濃度の汚染があるものとして、適正に除去処分してください。 なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>
6	<p>⑥*発注仕様書 (P-18) 3 ダイオキシン類非汚染箇所解体工事 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事項「本工事範囲に残る予備品・消耗品・薬品等については、全て回収し適切に処分すること」との記述がありますが、予定量より想定以上の残撤去類が発生した場合には、変更対象と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。 	<p>予備品・消耗品・薬品等の量については、既設図面の確認および現地確認により、現状を把握して積算してください。 なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>
7	<p>⑦*発注仕様書 (P-23) 9. 外構解体、解体跡地整備 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事項「工事範囲内において、全ての埋設物、舗装、雨水排水施設、電柱、埋設配管、配線等を撤去する」と記述がありますが、現況で確認できない埋設物など発生した場合には、変更可能と考えてよろしいでしょうか？ご教示ください。 	<p>発注仕様書P23 9(1)に示すとおり、残ることのないように既設図面の確認および現地確認により、現状を把握して積算してください。 なおその上で、想定外の事態と認められる場合は協議対象とします。</p>

8	<p>●（公表）土工収支について（セメント安定処理数量）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該工事におけるセメント安定処理を必要とする箇所は、焼却施設 GL-1m以深部とし、下図（土工収支表より）セメント安定処理に該当する数量は、$V=12,612\text{m}^3$のみと考えてよろしいでしょうか？ <p>《補足事項（考え方）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計書（第2号内訳焼却施設土木建築解体工事）より、(2)埋戻し（本工事、掘削土）$V=9,042\text{m}^3$を場内運搬し、セメント安定処理後、埋戻しを行う。不足土として、(5)埋戻し（場内掘削土・場外仮置土）の一部（$V\approx 3,570\text{m}^3$）をセメント安定処理し、焼却施設解体後に埋め戻すと考えております。当該事項について、ご教示願います。 	<p>金抜き設計書 P11 1) (5) GL-1m以深の地下容積部（建物、基礎等）の埋戻し工は $12,612\text{m}^3$と試算しています。セメント系改良による埋戻しになります。</p> <p>上記には、地下構造物の解体のための掘削一式 [金抜き設計書 P11 1) (1)] および、埋戻し一式 [金抜き設計書 P11 1) (2)] は含まれていません。</p> <p>そのため、地下構造物の解体のための埋戻しについては、上記 $12,612\text{m}^3$のほかに、セメント系改良による埋戻しが必要ですので、地下解体のための山留工事や掘削工事を計画、土量計算を行い積算してください。</p>
9	<p>今回の設計額算出におけるそれぞれの経費率については、循環型社会形成推進交付金交付取扱要領に準じた算出でしょうか。またそうでない場合は主たる工種をご教示ください。</p>	<p>経費率については、循環型社会形成推進交付金交付取扱要領に準じています。</p>
10	<p>金抜き設計書の B 諸経費の共通仮設費の欄については、積上げと率計上が合計されていると考えてよろしいですか。ご教示ください。</p>	<p>そのとおりです。</p>
11	<p>場内の高圧電路は全くないのでしょうか。もし存在するのであれば中部電力柱からの場内高圧電路の図示をお願い致します。</p>	<p>工事範囲内に使用中の高圧電路は存在しません。なお、資源化施設の高圧電線路は別図を参照してください。</p>
12	<p>場内における使用可能な給排水系統図をご提供ください。</p>	<p>施設を休止しましたので、排水処理設備は使用できません。</p> <p>給水は使用できますので、既設図面集により、給水設備を確認してください。</p>

13	<p>工事用車両の公道出入り口から場内パネルゲートまでの運行ルートを平面図にてご教示ください。</p>	<p>東側の出入口からのルートになります。</p>
14	<p>休工期、施工時間等の指定があればご教示ください。</p>	<p>原則、休工期は行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日とするが、施工時間は地元住民説明会で了承を得た時間帯を考えています。</p>
15	<p>地下ピットと機械設備はどの程度洗浄されていますでしょうか？また、工事前の洗浄を考慮した方が宜しいでしょうか？ご教示ください。</p>	<p>稼働停止時に通常運転での灰出し作業は行っていますが、清掃はしていません。高圧洗浄前の灰出し作業は必要と考えています。</p>
16	<p>機械類の残オイル量についてご教示ください。</p>	<p>発注仕様書 P25 表 5 にタンク、サイロ内の残留量を参考に示しています。ただし、上記のほかにも、機器内部、配管内の機械油は残っていますので、既設図面の確認および現地確認により、残オイル量を把握して積算してください。</p>
17	<p>発注仕様書 P15 2-(3)キ「外壁面から地下水が流入し止水工事を行う」とありますが、地下水の流入量・水位・外壁面の流入箇所（できれば図示をお願い致します）をご教示ください。また、こちらの回答によっては止水工事が困難な場合、流入箇所を避けた管理区域の設定をしても宜しいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>発注仕様書 P15 キ に示す通り、「地下水が高く、地下灰コンベア室等の外壁面から地下水が流入している。管理区域内に入った水はそのまま放流できないため、管理区域設置前に止水工事を行うこと。」としてください。 既設図面の確認および現地確認により、現状を把握して積算してください。 あらゆる方法を検討しても止水が困難な場合は、流入した水が汚染することのないように計画工事してください。</p>

18	<p>発注仕様書 P19 4-(2)「内筒内部の洗浄後の確認、切断までを管理区域内の作業とする。」とありますが洗浄後の確認にてダイオキシン類濃度測定の結果環境基準値以下の確認ができた際には管理区域を開放し切断しても宜しいでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>基本的には、発注仕様書 P19 4(2)に示す通り「内筒内部の洗浄後の確認、切断までを管理区域内の作業とする。」としてください。</p>
19	<p>フロンガス及び臭化リチウムの封入量をご教授願います。</p>	<p>フロンガスは別表のパッケージ形空調機の冷媒回収を見込んで下さい。 臭化リチウムの量は、発注仕様書 P22(12)に吸収式冷凍機のメーカー・品番を記入していますので、確認して積算してください。</p>
20	<p>仕様書 14P (2)キ 除染作業中の換気回数は4回/h以上で適切と考えますが、除染後機械設備撤去中の換気回数は4回/h未満でも宜しいでしょうか。ご指示願います。</p>	<p>発注仕様書に示す通り4回/h以上としてください。</p>
21	<p>渡り廊下のリサイクルプラザ側の基礎の撤去については既存建物への影響が懸念されるためGLより上部のみを撤去することで宜しいでしょうか。またランプウェイ東側の基礎も同様で宜しいでしょうか。ご指示願います。</p>	<p>既設図面の「長野市リサイクルプラザ建設工事建築設計図面(意匠図・構造図) 竣工図面」S56図のX4通りの柱、地中梁まで解体してください。 X4通りのラップルコンクリートのみ残すことを認めます。</p>
22	<p>アスベスト含有配管エルボ箇所数をご教授願います。</p>	<p>箇所数を示す資料はありません。 図面及び現地確認により積算してください。</p>
23	<p>施設内に残るじん芥類、滞留水、灰、汚泥の概算数量及びダイオキシンや重金属等の有害物質の有無に関する分析結果をご教授願います。</p>	<p>ダイオキシン類の分析結果はP18表2に示しています。重金属類の分析は実施していません。なお、本施設に残る付着物堆積物は3000pg-TEQ/gを超える高濃度のダイオキシン類濃度の汚染を確認しています。プラント排水処理系統等に残る滞留水、堆積物についても高濃度のダイオキシン類濃度の汚染があるものとして、適正に除去処分してください。 ごみピットは稼働停止後に清掃しています。 滞留水、灰、汚泥の量については、図面及び現地確認により積算してください。</p>

24	<p>外構解体については予期せぬ地中障害物、地中埋設物の撤去については別途工事と考えれば宜しいでしょうか。ご教授願います。</p>	<p>予期しないものが見つかった場合は協議対象とします。</p>
25	<p>仮設計画図について、出入口が東面に2箇所のイメージで記載されていますが、南面既存出入口の活用や北面を先行撤去した上で活用する等の対応は可能でしょうか。また、既存プラスチック容器包装圧縮梱包施設及び資源化施設への一般車両出入りの導線及び頻度を御教授願います。</p>	<p>南面は新設焼却施設の用地で出入りは困難です。北面は住宅があるため避けてください。 車両の通行台数については添付資料の「工事範囲における車両通行台数」を参考にしてください。</p>
26	<p>渡り廊下の下の構内道路は、渡り廊下撤去時も常に通行可能としておく必要があるということでしょうか。御教授願います。</p>	<p>原則、日・祭日以外は通行可能とさせていただきます。</p>
27	<p>発注仕様書 P21 7 建築物・構築物解体工事(2)で「・・・シートパイル等で囲い、ディープウェル工法等で地下水対策を講じること・・・」を条件として示されておりますが、詳細が不明であり、山留工事計画に支障が出る可能性がございます。その為、現地ボーリングデータ若しくは、ながの環境エネルギーセンター建設時の地下水状況が分かる資料（ボーリングデータ等）をお示し願います。</p>	<p>本工事は仕様書発注ため、受注者に提案していただく事項になります。 ボーリングデータについては、既設図面の「長野市リサイクルプラザ建設工事 建築設計図面（意匠図・構造図）竣工図面」S-10を参考にしてください。 なお、地下水位は発注仕様書 P21 7(2)に示すとおり「地下水位が高い（地盤面より3m程度）・・・」になります。 また、環境エネルギーセンター建設に先立ち行った環境影響評価書に地下水位の状況が記載されております。環境影響評価書は、長野県のホームページ（長野県における環境影響評価対象事業の現状状況）で閲覧できます。</p>
28	<p>工事仕様書 12 調査・測定・分析等(6) 近隣家屋調査について、清掃センター敷地内リサイクルプラザ、資源化施設、プラスチック容器包装圧縮梱包施設は調査対象外と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>敷地内部は近隣家屋調査の対象とはしていません。ただし、本工事が影響が懸念される場合は家屋調査の実施を検討してください。</p>

29	<p>【建築】ストックヤードの堅樋からの雨水処理は柵で受け浸透処理の上、オーバーフローはストックヤード北側のVS側溝へ接続という考えで宜しいでしょうか。御指示願います。</p>	<p>仕様書および図面を参考にして、受注者に提案していただく事項になります。</p>
30	<p>【外構】金抜き設計書の第10号4) 剪定枝貯留ヤード整備工事の(1)基礎工事に柱状改良と明記がありますが、柱状改良同等でストックヤードの基礎と同じ地盤改良で設計しても宜しいでしょうか。御指示願います。</p>	<p>発注仕様書 P30 イ(イ)に示すとおり、支持層まで柱状改良してください。 なお、他の工法であっても、同等以上のものであることが確認できる場合には、他の工法の採用についても協議できます。</p>
31	<p>発注仕様書 P6(10) 管理区域内での作業員作業に従事する血液中のダイオキシン類測定は、除染作業に従事するものだけで宜しいでしょうか。</p>	<p>除染作業や灰だし作業に従事する作業員を対象として下さい。</p>
32	<p>発注仕様書 P21 7(2) 地下水位対策費の検討にあたって、隣接する新工場建設時の山留工法、湧水量、季節ごとの地下水位等を参考にしたいのでお示し願えないでしょうか。</p>	<p>隣接する新工場は事業主体が異なるため、情報提供はできませんが、建設に先立ち行った環境影響評価書に地下水位の状況が記載されております。環境影響評価書は、長野県のホームページ（長野県における環境影響評価対象事業の手続状況）で閲覧できます。</p>
33	<p>発注仕様書 P27 第5章_12_(6) 近隣家屋調査範囲の東側に長野市資源再生センターの既存施設（リサイクルプラザ・プラスチック製容器包装圧縮梱包施設・資源化施設）が含まれています。 本施設内の既存建物であることから『近隣家屋』には該当せず、調査範囲は北側の建物5棟のみと考えて宜しいでしょうか？ 調査対象範囲の建物棟数及び規模・構造等をご指示ください。</p>	<p>No.28の回答を参照してください。 また、北側の建物については、地図データや現地確認により調査概要を確認してください。</p>

34	<p>発注仕様書 P27 第5章_12_(6)</p> <p>近隣家屋調査の調査方法・内容に係る仕様の記載がありません。調査方法・内容は下記の通りと考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">①外壁調査（亀裂、隙間、破損、漏水跡の有無、傾斜測定）②外構（塀、擁壁、門扉等）の損傷および傾斜、土間の亀裂及び隙間③その他、目視できる現在の家屋の状態の調査 <p>※家屋内部の調査は行わない。</p> <p>上記と相違する場合は、調査基準をご指示ください。</p>	<p>工事の影響がどのようなものになるか検討した上で、調査方法・内容について受注者で判断して実施してください。</p>
----	--	---